

令和2年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般

マスタープラン： 3つの挑戦 / 低炭素

施策番号： 5-4 . 6-3 .

局・課名： 建築都市局 交通政策課

事業名	路面電車活性化事業	事業費(千円)	平成30年度決算額	令和元年度予算額	令和2年度要求額	
		303,730		312,550	192,433	
【目的】 阪堺線は、長年市民に親しまれてきた公共交通機関であり、本市のまちづくりの上でも重要な存在である。平成22年10月から開始した支援策により、利用者の増加及び収支の改善が見られ、支援完了後の堺市内区間の存続に向けて、事業者と支援後のあり方について協議を進めており、本市のめざすまちづくりと連携しつつ、阪堺線の再生・活性化を図ることを目的とする。 【内容】 ・路面電車利用促進補助 堺市内～大阪市内区間の均一運賃化、ゾーンチケット発行 高齢者利用割引、利用促進のための周知広報事業への支援 ・路面電車再生対策補助 施設の保安・保守等に要する経費への支援 ・路面電車施設高度化補助【国との協調補助】 低床式車両の導入等 ・鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費補助【国との協調補助】 老朽化対策のための軌道施設改修補助(マクラギ更換等) ・阪堺線活性化推進懇話会での支援策の検証等 【今年度要求のポイント】 ・平成22年10月より開始した阪堺線に対する支援は、10年間限定となっており令和2年9月末で終了する。 ・令和2年度は、老朽化対策のための軌道施設改修と、令和2年9月末までの利用者拡大策及び施設の保守保安等のための費用を要求する。	債務負担行為	期間	要求額(千円)			
		R ~ R				
	主な要求内容		(単位:千円)			
	項目	元年度予算	2年度要求額	内容・積算等		
	路面電車利用促進補助	155,000	73,000	利用者拡大策への支援		
	路面電車再生対策補助	45,000	27,000	施設の保安・保守		
	路面電車施設高度化補助	41,666	0	低床式車両の導入		
	鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費補助	69,560	91,333	軌道施設改修等		
	その他	1,324	1,100	阪堺線存続支援策効果検証委託料等		
	合計	312,550	192,433			
スケジュール(経過及び今後展開)						
【経過(～元年度)】		【2年度】		【今後予定(3年度～)】		
・支援開始(平成22年度) ・支援策の実施(低床式車両導入、停留場新設、停留場改修、軌道改修等) ・阪堺線活性化推進懇話会での検証、支援策中間検証等		・軌道改修、利用者拡大策への支援等 ・阪堺線活性化推進懇話会での検証等		・支援完了後の事後検証等		
その他 特記事項						
関連事業:		建築都市局 建築都市局	総合交通体系調査(交通政策課) 公共交通利用促進事業(交通政策課)			